

機密管理と情報セキュリティ

機密漏えいの防止、情報の外部攻撃に対する防御が事業活動には不可欠と考えています。

当社のみならず取引先の情報は適切な管理・取り扱いをすべき資産であるとの認識に基づき、機密管理と情報セキュリティ活動を推進しています。

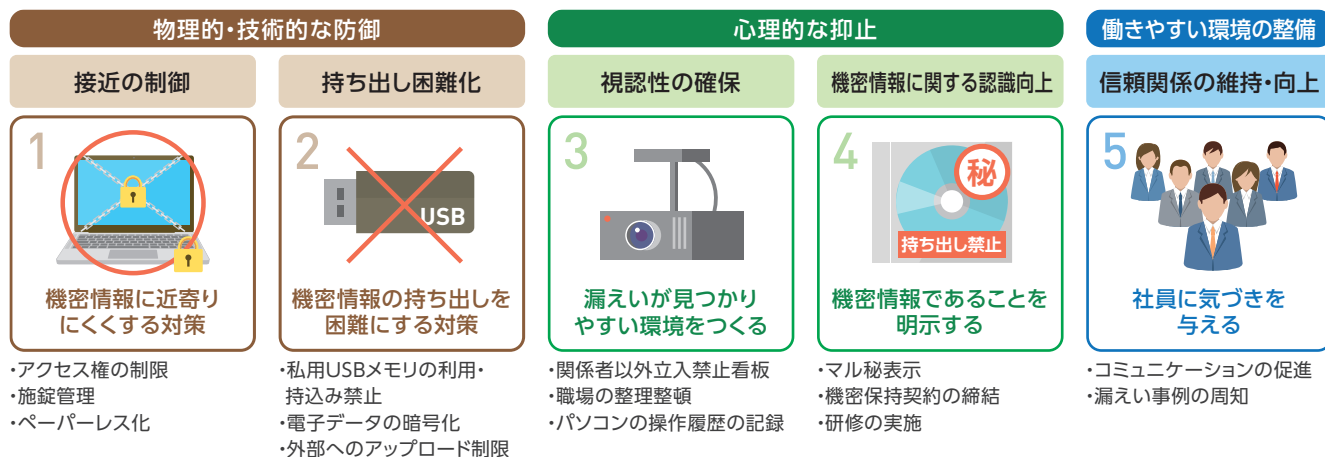
基本的な考え方

当社では、「社員行動指針」に「機密情報は、規則に従って厳重に管理し、漏えいの防止に努めます。」と定め、各部に機密管理責任者、機密情報取扱者を置き、職場でのミーティングや自主点検を実施することで機密管理意識の向上に努めています。

また、会社を守り、ひいては社員を守るために、「情

報漏えい5つの対策」として、アクセス権の制限、施錠管理などの物理的・技術的な防御、パソコンの操作履歴の記録、機密区分の明示などの心理的な抑止、漏えい事例の周知などによる働きやすい環境の整備に取り組んでおり、その内容は国内外のガイドラインに準拠しています。

5つの対策



※2016年6月 経済産業省「営業秘密の保護・活用について」を元に作成

物理的・技術的な防御の事例

2017年11月より、ICカード認証の複合機導入により情報漏えいリスクの低減を図りました。

また、半年に一度、抜き打ちでの持ち物検査を実施し、社員へ機密管理に対する自覚を促しています。



ICカード認証の複合機導入



持ち物検査の様子

心理的な抑止の事例

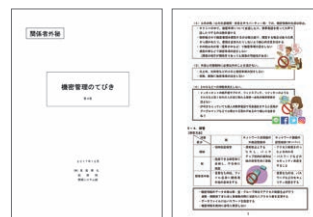
2017年10月に外部から講師を招き、当社管理職以上を対象とした講演会を開催しました。

機密管理のために注意すべきこと、直近のインシデント事例の紹介などにより、意識向上につながりました。

また、2017年12月には機密管理のてびきを改訂し、機密の定義からインシデント発生時の対応方法までをイラスト付きで分かり易く解説しています。



外部講師による講演会



機密管理のてびき(抜粋)